

市内の小中学校全30校を毎月紹介します

第1回

郡上市立八幡小学校

☎ 教育委員会学校教育課
67・1468

《郡上市がめざす教育》

郡上市に生きる一人一人のよりよい未来と、郡上市の未来を切り拓く教育の願いが込められた教育理念、それが「凌霜の心で拓く明日の郡上市」です。

一人一人が個性や能力を伸ばし、自立する人間として生きること、様々な人々と共に生き、自然との共生ができること、創造力や開拓精神をもって力強く生きることを願って「自立・共

生・創拓の教育」を教育の方針としました。さらに、身に付けさせたい力を六つの視点から示しています。(左表参照)
市内の小中学校、全30校の具体的な教育実践をシリーズ「我が校の教育」〜特色ある活動紹介〜にて紹介していきます。どうぞご期待ください。

凌霜の心で拓く明日の郡上市 自立・共生・創拓の教育

凌霜の心(高い志をもち、感謝の心と不撓不屈の精神でひたむきに努力すること)

生命を大切に

自他の生命を尊重し、自らの健康や体力を増進し、節度や節制に心がけて心身の調和のある生活ができる。

助け合い、協力し合って生きる

正義と規律を守り、感謝と思いやりの心をもって、温かく安心できる社会をつくるために助け合ったり、協力し合ったりできる。

生涯学び続ける

学ぶ楽しさを知り、自ら学び、確かな力を身に付け、自分自身の個性や能力を活かす生き方ができる。

ふるさとに誇りをもって生きる

地域の自然、歴史、伝統、文化を尊重し、郡上に生きること誇りをもち、国内外の人々と協力してよりよい社会を実現することに貢献できる。

夢と希望をもって強く生きる

生きる夢と希望をもち、自らの強い意志と態度で実行し、困難を乗り越えて人生を切り拓いていくことができる。

心豊かに生活できる

美しいものに感動する心、崇高なものに対する畏敬の念などを養い、自分の感性や情感を豊かに表現し、心豊かに生活することができる。

五つの名人に挑戦…

- ①聞き名人 ②ほかほか名人 ③呼びかけ名人
- ④安全名人 ⑤ふるさと名人

八幡小学校では、「五つの名人」を合言葉に、全校児童、職員、保護者で一丸となって取り組んでいます。

今回は「ほかほか名人」について紹介します。「ほかほか名人」とは、相手を思いやった温かい言動ができる人のことです。

四月に各学級で「学級にあふれさせたい言葉、なくしたい言葉」について、話し合いました。

▼あふれさせたい言葉…
●がんばれ ● いよいよ ● ありがとう ● だいじょうぶ? ● ごめんね ● 一緒にやろう ● ドンマ

▼なくしたい言葉…
● うざい ● きもい ● やめろ ● あっちへ行け ● あだな ● 呼び捨て。

この後、どの学級もこの話し合いに立ちかえりながら、一年間かけて、深い信頼で結ばれた学級を、協力してつくっていきます。

児童会では、今年度のテーマ

を「みんなでポカポカ みんながポカポカ」自分から動く」と設定しました。

4月24日(木)には「一年生をむかえる会」を行い、前述のテーマを意識しながら、五・六年生のプログラム委員会を中心に、遊びやクイズを全校縦割り班で楽しみました。上級生は下級生が楽しめるように、わかりやすく指示したり励ましの声をかけたりしました。

入学してから間もない一年生も上級生の指示を聞いて楽しく遊ぶことができました。会の中で温かさを感じる場面をたくさん見ることができました。

会を終えた六年生児童の感想です。「わたしはプログラム委員なのでゲームの時ぐらいいろいかなかったですけど、確実になかよし班の子たちは変わりました。最初はすごく静かでしたが、本番はすごく盛り上げてくれて、

その盛り上がりがすごくポカポカに感じ、ゲームの時に一年生に喜んでもらえるように頑張ることができました」

このリーダーの感想に、心を通わせて活動することの喜びや支えてくれた班の子らへの感謝の気持ちが表れています。

「いじめ」が社会問題となっています。八幡小学校では、「いじめは我が校でも起こりうる」という危機感をもっていきます。

ほかほか言葉や行動をあふれさせることで、「誰もが大切にされる学校」「いじめ・不登校0の学校」をめざしています。

八幡小学校教頭 大江裕之



▲ 1年生をむかえる会の様子